

オーストラリア短期留学を終えて

釧路校 学校カリキュラム開発専攻 2年 緒方涼実

はじめに INSEARCH での授業について述べていこうと思います。クラスは事前に行われたテストによって振り分けられていました。そのテストはパソコンを使用したのですが、パソコンで英語を聞く、タイピング、話すという日本では私は受けたことないスタイルの試験だったのでとても動揺しました。試験の結果、私は午後クラスになりました。午後クラスは 13:30 から 18:00 までです。授業内容としては月末の小レポートの提出や speaking test などに向けて、s+v などの基本文型や比較級、現在完了などの基礎的な文法事項を学ぶというスタイルでした。その文法事項を使ってディスカッションをしたり、携帯を使ってクイズを行ったりなど、生徒が受動的ではなく能動的に受けていた授業だったと感じています。日本で学んだものを英語のみでもう一度聞き理解するということは新鮮な出来事で英文法の再理解も出来たので、とても有意義な時間だったと思います。クラスはジョルダン人が 1 人、サウジアラビア人が 1 人、日本人が自分を含めて 4 人、中国人が 12 人でした。他のクラスは中国人しかいないクラスもあったそうなのでどちらかといえば国際色豊かなクラスだと思います。最初は中国人たちが中国語で話していることが多かったのですが積極的に話していいものなのか分からず戸惑いましたが、授業が始まり授業内で会話をするようになってからは次第に休み時間に会話することも増えていきました。特に仲良くなれたのが隣の席の同じ年の女の子でした。中国ではアニメの犬夜叉や YouTuber など日本のものでも有名なものがたくさんあること、好きな食べ物や将来の話など普通に会話ができることは良い思い出です。



(4人1組でディスカッション)

(クラス全員の集合写真)

今回のプログラムではホームステイで、私のホストファミリーはフィリピン人だったので英語で会話してました。ホストファミリーは親切でした。ホストマザーが心配症だったので、その分安全に過ごすことが出来たのだと思います。子どもの年齢が私と近く、だいたい5歳上だったので良く話しかけてくれました。フィリピンの出身の方たちの英語は普

段聞いている英語とは少し違う部分があったので、最初は聞きとるのが大変でした。2週間ほど経つと耳が慣れてきて会話が最初よりは出来るようになりました。料理の手伝いをしながら日本との違いをよく話していました。今回運がよく、ホストファミリーの誕生日パーティーに参加することが出来た。大勢の友人が祝いに来ていて、食べ物はホットミール形式になっていてレストランのバイキングのようになっていました。豚の丸焼きで頭がそのままある状態になっていたことは衝撃でした。誕生日ケーキは紫色の大きなケーキで、スケールや文化の違いをととても痛感しました。貴重な経験が出来てとても嬉しかったです。

INSEARCH ではシドニー工科大学のチューデントヘルパーという同年代のボランティアの学生たちが様々な企画をしてくれました。最初の週にはバレンタインが迫っていたので、ピザやお菓子を食べながら、映画を見るというバレンタインナイトという企画が行われました。オーストラリアのバレンタインは男性から花などを贈るのが文化で、折り紙で作られたバラを友人からもらいました。文化の違いを感じつつ、忘れられないバレンタインになりました。また日本人が少ないということもあり、授業のない午前中や授業後にはさまざまな場所へ連れて行ってくれました。オペラハウスやハーバースブリッジなどの有名な観光名所はもちろんのこと、ビーチ、カフェ、バーなど毎日いろんなところに行き、忙しくもありながら楽しく過ごすことが出来ました。土地勘がないので毎日しっかり過ごしていけるか不安でしたが、毎日いろんなところに行っていたので少しずつ覚えていくことが出来ました。週末には電車やフェリーを使って友人と出かけていました。シドニータワーや動物園、ショッピングモールなどいった場所はたくさんあります。もう一つ2週目と4週目にはツアーに参加して世界遺産を見てきました。1つは日本人のガイドによるツアー、もう1つは現地のガイドによるツアーでした。日本人のガイドはやはり聞いていて理解しやすいし、ツアーには全然関係ないがシドニーの有名な飲食店を教えてくれるなど安心感のあるツアーでした。もう一つは現地のガイドなので全て英語であり、参加者もドイツやスウェーデンなど様々な国からでした。4週目でかなり耳が慣れてきていたころだったので現地のガイドでもあまり大変ではありませんでした。日本では経験できないので英語のガイドも経験出来てよかったと思いました。オーストラリアの広大な土地を見るのは公共交通機関ではいけないところもあり、自分一人では行けなかっただろうと思うので思い切ってツアーに参加してよかったと思いました。

私は今回のプログラムが初めての海外でした。海外や留学への憧れは以前からあったのですぐに行きたいと自分では決断したんですが、海外は危険だ、お金がとてめにかかる両親にいわれ、ぎりぎりまで説得して何とか行くことが出来ました。4年間しかない大学生活の中でやりたいことを1つ出来たのは自分の良い人生経験になりました。英語の先生になりたいと思っているので少し勉強はしていましたが、ネイティブの発音は最初は全然聞き取れなく、耳が慣れてくると最初よりは聞き取れるようになりました。また会話も最初は相づちを打つのが精いっぱいみたいになってしまっていたが、慣れてくると自分の考えを伝え

られるようになりました。しかし正しい英語では伝えられてなかったように思います。聞き取ることも会話も最初よりは出来るようになりましたが、あくまで最初よりはなので、まだまだ勉強しなければいけないと改めて感じました。私は長期プログラム行くことは考えてなかったですが、INSEARCH や友人、生活どれも充実しすぎていた日々だったのでもう一度行きたいと思っています。少し遅いですが今から勉強していく予定です。生き方、考え方の変わるいいきっかけになったと思うので私はこのプログラムに参加してよかったと思っています。次回参加したいと思っている人へは生活するときに少し困った 2 点を伝えておこうと思います。1 点目は携帯電話です。1 ヶ月なので私は特に海外パケホーダイなどの海外専用プランには変えませんでした。理由はインターネットなどで情報を集めると、オーストラリアはフリーWi-Fi がたくさんあるのでフリーWi-Fi を使って繋がれば日本にいる時と同じように利用できると書いてあり、ホームステイ先でも Wi-Fi を使うことが出来たので無くて困らないのではと思ったからです。しかしフリーWi-Fi はお店ごとに持っていたり、接続出来ないものも多かったので、Wi-Fi のないところに行ってしまうと連絡が取れなかったのが少し不便でした。一緒に行ったメンバーの中には海外プランに入ったりポケット Wi-Fi を持ってきている人もいました。2 点目はお金です。オーストラリアはクレジットカード文化なので基本的にはコンビニなどでもクレジットカードだったのですが、残高が分からない中生活していたので後半少し不安に思いながら生活していました。友人と食事に行く機会が多かったのですがその際は現金で払うことが多かったです。しかし物価が高いので 1 食 2000 円、多いときは 4~5 千円ほど使うこともありました。私は日本円でその都度両替してました。友人は新生銀行で口座を作り、海外でもお金を引き出せるカードを持っていたのでそれがあると便利なのではないかと思います。あとはたくさん友人を作りいろんなところへ足を運び楽しむことが大事だと思います。海外での生活に興味があるなら行ってみる価値はあります。あとは気持ちとお金があればこのプログラムは参加できます。とても濃い充実した 1 ヶ月になると思います。私は今まで生きてきた中で 1 番濃く充実した 1 ヶ月でした。参加できてよかったです。参加させてくれた両親と大学には感謝しています。ありがとうございました。



(スチューデントヘルパーとバーで記念撮影)